

西浦地区義務教育学校開校準備委員会（第1回）議事要旨

- 日時 令和5年7月25日（火）14時～15時30分
- 場所 西浦中学校会議室
- 参加者 小澤委員、壁谷宜委員、壁谷亮委員、尾崎委員、小笠原委員
鈴木委員、岡田委員、横田委員、尾崎委員、石川委員、
壁谷宣委員、伊東委員、その他事務局職員

1 あいさつ

- ・岡田教育部長が教育委員会を代表してあいさつ。

2 委員委嘱

- ・他薦により小澤良充委員（中学校長）を委員長に選任
- ・委員長より壁谷亮二委員（学校運営協議会長）を副委員長に指名

3 協議

(1) 組織確認

- ・事務局より組織体制について説明。（資料1）
- ・質問や意見なし。

(2) 基本方針

- ・事務局より基本方針について説明。（資料2）

（委員からの意見・質問等）

【委員】 今回の計画がなぜ西浦地区から始まったのか。

【事務局】 地区個別計画の作成が西浦地区から始まり、その検討の結果、小中学校と公民館を合築することとなり、1人の校長による9年間を見据えた教育を実施すると良いという結論となった。

(3) 開校までのスケジュール確認

- ・事務局より開校までのスケジュールについて説明（資料3）

（委員からの意見・質問等）

【委員】 生活部会での検討において、市の制服検討委員会や部活の在り方検

討委員会での方針との調整はどのように行うか。

- 【事務局】 制服検討会議については校長会での報告等を参考にし、部活動の在り方については現在の指針に基づいた実施となる見込み。
- 【委員】 部活動の在り方検討が令和6年度となっているが、現在部活動に参加している子どもたちのことを考えると、早期に検討が必要。
- 【事務局】 部活動について、子どもの数等を踏まえながら種目の検討をしていくことも考えていかなければならない。
- 【委員】 少なくとも現在部活動に参加している子供達が、合築したことで部活が無くなることがないようにしたい。
- 【委員】 校舎完成直後はまだグラウンドの整備が完了しないため、現在の中学校を使用する案も検討が必要だが、管理方法については課題となる。
- 【事務局】 様々な案があり、ひとつひとつ考えていく必要がある。そういったことも含めて話合っていきたい。

(4) 質疑応答

- 【委員】 工程表にある高浜小の視察とは何か。
- 【事務局】 小学校と公民館の複合施設であるので施設運営や教育面の参考にしたい。
- 【委員】 施設はできる限りいいものを作ってほしい。そのためには、予算ありきではなく、子供達のことを最優先に考え、市はその気持ちを受け止めてほしい。また、グラウンドも工事期間中にどうなるのか。
- 【事務局】 まずは子供達のことを考えてアイデアを出して夢を広げていただきたい。その上でこれがどうして必要なのか、考えていただきたい。現在の小学校のグラウンドについては来年度着工して使えなくなるが、その間の使用場所は検討中である。
- 【委員】 校舎の建て替えが市内で最初のケースだからこそ様々な意見が出せ、モデルケースとなる。子供達にとってはこの学校が居場所であり、それができる場所を市には提供していただきたい。教職員は負担となるが頑張っていたいただきたい。教育委員会の方は教職員の意見を受け止めてほしい。